

提 案 書

提案名 (25字以内)	横濱キャンドルカフェ 2012 ～つ・づ・く・つ・な・が・る～
グループ名 (25字以内)	横濱キャンドルカフェサポーターズクラブ

【1】グループの現在の主な地域社会貢献活動の内容及び最近5年以内の実績を記入してください。

2006年～2011年の6年間継続して横濱キャンドルカフェを開催。みなとみらいのクリスマスイベントとして定着している。

多くの市民ボランティアの協力と市内企業の協賛により成り立っている「市民参加型」「主役は市民」のイベント。さらに2011年は、市内で暮らす社会の助けを必要としている子供たちのクリスマス会にキャンドルを無償提供し、その会で書き記した子供たちのメッセージを会場に飾った。

【2】助成を受けて行う活動の年間計画を記入してください。

月	内 容
4月	
5月	
6月	平成24年度第1回理事会開催
7月	
8月	平成24年度第2回理事会開催 事業報告書作成・協賛先様配布
9月	
10月	平成24年度第3回理事会開催
11月	
12月	平成24年度第4回理事会開催 横濱キャンドルカフェ 2012 開催
1月	
2月	
3月	平成24年度第5回理事会開催

【3】助成を受けて行う活動の内容について、次の項目に沿ってご記入ください。

(1) 活動の内容 (2) 活動の主催者及び参加者 (3) 活動を実現するための方法 (4) 時期 (5) 場所 (6) 当地区で活動を行う理由 (7) エリアマネジメントの効果 (8) その他、特徴やアピールする点

(1) 活動の内容

横濱キャンドルカフェ 2012 開催 (12月22日～24日)

会場全体を、人びとの想いや願いを書き記したドリーミングシートを翳した約 4,000 灯のキャンドルで埋め尽くします。特に、今年は「メモリアルロード」として過去のドリーミングシートを年代ごとにキャンドルに灯し、「つ・づ・く」を表現します。また、未来への記憶として、新たに会場の至る場所に「フォトスポットコーナー」を設置します。みなとみらいの夜景やハート型のキャンドルをバックに綺麗な思い出写真を「パシャリ！」笑顔溢れる場の提供です。(イベントコンセプト・企画は添付資料をご参照ください)

(2) 活動の主催者および参加者

主催者：横濱キャンドルカフェサポーターズクラブ

参加者：横浜市民を中心とした御来場者

(3) 活動を実現するための方法

*横浜市文化観光局をはじめとした公的機関や放送媒体各社の後援を頂きながら、市内各企業に幅広くサポーターズクラブの会員を募集し協賛を募ります。

*雑誌や放送・電車広告など各種媒体への掲載依頼も昨年同様依頼します。

*会場の一部は横浜市港湾局管理地となるため事前協議含め諸手続きを行います。

*水上警察との事前協議も行います。

*社会の助けを必要とする子どもたちとのコラボレーションは横浜市こども青少年局の指導を頂きながら計画します。

*継続してボランティアをお願いしているクラーク国際記念国際高等学校や各市民団体等に今年もお願いします。

(4) 時期

準備期間：平成 24 年 6 月～12 月 開催期間：平成 24 年 12 月 22 日～24 日

(5) 場所

運河パーク及びナビオス横浜周辺

(6) 当地区で活動を行う理由

横濱キャンドルカフェは横浜開港 150 周年を契機に発足した横浜開港 150 周年記念事業「横濱・開港キャンドルカフェ 150」の実績をもって継続運営することを通じ、観光・商業の振興と地域の活性化を図るとともに 市民・企業・行政が力を合わせ 現代のみならず、過去や未来に生きる人々に対する一人ひとりの温かい想いやりの心を創り育むことを目的としています。横浜の港における冬のイベントのシンボルとしてふさわしいものとするために当地区において活動することを前提としています。

(7) エリアマネジメントの効果

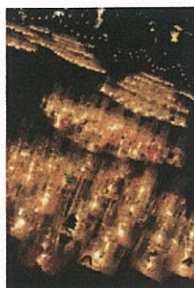
昨年は実施しなかったプレスリリースを今年は積極的に行い、各種媒体に幅広く露出(2011 年実績：テレビ 4 社、ラジオ 2 社、新聞 4 社、雑誌 7 社、公的機関 HP3 社、電車吊広告 1 社等)させることにより、昨年を上回る来場者を集め周辺施設への回遊を誘います。また、周辺施設との優待制度などにも取り組んでいきます。

(8) その他特徴やアピールする点

HP や face book に特設フォトサイトを設置します。来場者が撮影した写真をその場で簡単にアップ出来るよう誘導します。より多くの方楽しんで頂けるよう、来場者自らが楽しみながら作る「SNS」の基盤を構築します。

横濱キャンドルカフェは、横浜開港150周年記念事業「横濱・開港キャンドルカフェ150」を継続運営することを通じて、観光・商業の振興と地域の活性化を図るとともに 市民・企業・行政が力を合わせ 現代のみならず、過去や未来に生きる人々に対する一人ひとりの温かい想いやりの心を創り育むことを目的としているイベントです。一つ一つのキャンドルの灯に想いを載せて、やさしくて温かい空間を作り出し、クリスマスの聖地として広く市民に愛されてまいりました。昨年は、東日本大震災の復興を願うとともに横浜市内で暮らす社会の助けを必要とする子どもたちの楽しい企画など、3日間で19万人の来場者を迎え、大きな賑わいを見せました。

2012年は今まで以上に多くの方々に喜んでいただけるよう様々な企画を検討しております。



想い ~わすれてはいけないこと たいせつにしたいこと~

誰もが待ちわびるクリスマス
大切な人と大切な時をすごす
その「たいせつ」の輪が今年ももっと大きくなるよう
そして決してわすれてはいけない被災という事実を
これからもずっと受け止めていく



過去を思い出しながら、未来を創造する
自身をみつめながら、周囲の人々を救う
その場にながら、他の場を想う
人はだれもがだれかとつながっていることを
あらためて心に刻みつける

2

イベントコンセプト

つ・づ・く・つ・な・が・る



おもいやり ~地球で生きているということ~

横濱キャンドルカフェ2011で使用したエネルギー(軽油)=35リットル。排出されたCO₂は91kg-CO₂。これは、一世帯の一月当たりの電気使用に伴うCO₂排出量の60%現代のイベント運営としてあるべき姿を実現します。

キャンドルセット(事前販売セットは除く)の大半は今年もリユースを使用します。セットの台座は生育の早いワルカータや間伐材・端材を利用。会場内でのごみもケータリング業者持ち帰り分別を徹底。

つ・づ・く ~おもいでさがし メモリアルロード~



2006年から続くキャンドルカフェ。恋人や家族たちのその時々々の想いやメッセージが託されたドリーミングシート。時を経て恋人が夫婿になり、家族には新しい命が生まれていることを願って2012年はこれらの一部を改めて展示することで「つづく時」を表現します。

つ・な・が・る ~ここにいないあなたに ドリーミングタワー~



2011年にはDeNAベイスターズ選手たちからの被災地への励ましや仙台で暮らす人々の想い社会の助けを必要としている子どもたちの夢。そして彼らを暖かく見守る人びとの応援メッセージを会場に展示しました。今年も引き続きみんなで楽しみます。

おもいで ~しあわせなえがおをスイートフォトスポット~



素敵に飾られたキャンドルをバックに。ランドマークタワーや観音車の夜景をバックに。とびきりの笑顔で「バシャリ!」。会場の様々な場所にフォトスポットコーナーを設けます。

さ・さ・え・あ・う ~だれかのために力になること~

2011年のボランティア参加数は3日間で延べ120名。周辺の高校生の皆さんをはじめ多くの方が「リピーター」です。横浜市立大や関東学院大の学生も初参加、2012年には後輩に託します。

3日間で延べ19万人を超える来場者を迎えることが出来た2011年。そのほとんどの方が赤レンガ倉庫・ワールドポーターズ・ランドマークタワーに足を運びます。それぞれの施設との相互作用がエリアの活性化に大きく貢献するイベントです。

3



Smile

Yokohama Candle Cafe 2011

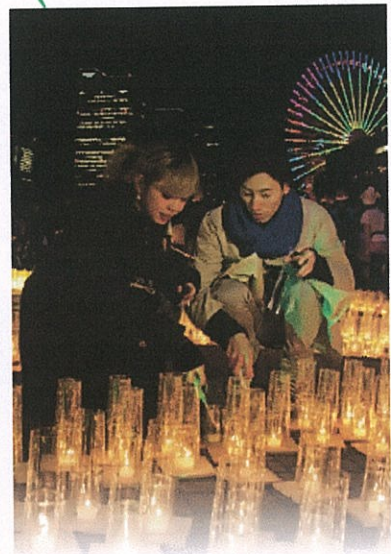
紡ぐ想い 灯す願い 一キャンドルからの贈り物～
誰かのためにやりたい。誰かを守ってあげたい。ともに笑いたい。ずっと一緒にいたい。
自分以外の誰かと想いを共にする。未来に向かって共に歩んでいく。
そんな、人として自然な感情に改めて気付かされた今年。
横浜キャンドルカフェは、
この一人ひとりの小さいけど深い想いを丁寧に紡いでいきます。
揺らめく灯りに願いを託し、感謝と希望を言葉にして
大切な人と分かち合う笑顔あふれる空間・時間を今年も横浜から広げていきます。



6



Scene



8